

目次

はじめに	2
本文中の記号	2
CELSIUS マニュアルの参照	3
BIOS 設定の表記	3
製品の呼び方	3
商標および著作権について	3
1 ソフトウェアについて	4
ドライバについて	4
アプリケーションについて	4
2 スマートカードについて	5
3 スマートカードによる BIOS ロックの設定	6
注意	6
設定方法	7
4 注意事項	11

はじめに

このたびは、CELSIUS ワークステーション（以下、本ワークステーションまたはワークステーション本体）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、スマートカードリーダー／ライタ（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。お使いになる前にこのマニュアル、およびパソコン本体のマニュアル、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2006 年 1 月

■ セキュリティ機能について

セキュリティ機能は完全な本人認識・照合を保障するものではありません。弊社ではセキュリティ機能を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

保証について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。
- 本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
- ワークステーション本体および周辺機器は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
- 本製品に関するお問い合わせは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について



本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点やしてはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

CELSIUS マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。
『CELSIUS マニュアル』は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

BIOS 設定の表記

本文中の BIOS 設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「－」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「：」（コロン）の後に記述する場合があります。

例：「Security」の「SmartCard PC Lock」の項目を「Disabled」に設定します。



「Security」－「SmartCard PC Lock」：Disabled

製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional	Windows XP、Windows

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006

1 ソフトウェアについて

本製品を使用するには、ドライバとアプリケーションソフトが必要です。

ドライバについて

本製品のドライバは、ワークステーションのご購入時にインストールされています。ハードディスクをご購入時の状態に戻した場合には、インストールされないことがあります。デバイスマネージャの「スマートカード読み取り装置」に「PanaSCR7A Smart」と表示されていない場合は、「ドライバズディスク」からインストールしてください。

ドライバのインストールは、「ドライバズディスク」内の「Indexcd.htm」からフォルダ名を確認し、該当するフォルダ内の「readme.txt」をご覧ください。

重要

- ▶ ドライバのインストール後に本ワークステーションを再起動しても本製品が動作しない場合は、「ドライバの更新」を行ってから再起動してください。再起動せずに使用すると、デバイスマネージャに「！」が表示されて正常に動作しない場合があります。

アプリケーションについて

本製品のアプリケーションは、ワークステーションのご購入時にはインストールされていません。ワークステーション本体のセットアップ後、本製品に添付の CD-ROM にあるオンラインマニュアルをご覧になり、インストールしてください。

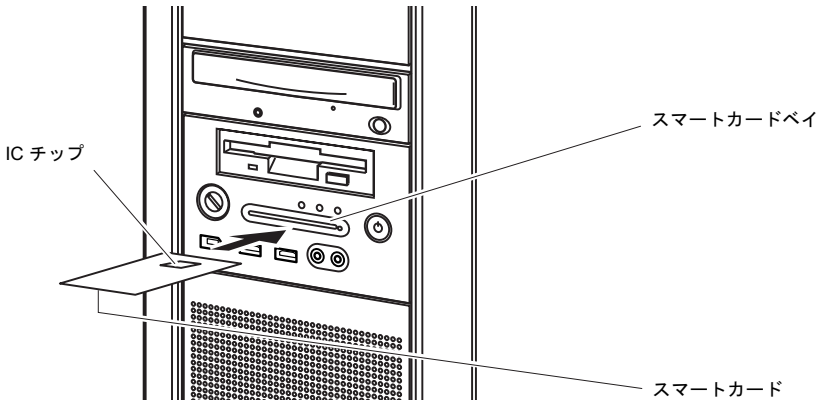
また、ハードディスクをご購入時の状態に戻した後も、同様にインストールしてください。

2 スマートカードについて

スマートカードはICチップ面を上にして、奥までゆっくり差し込んでください（スマートカードベイの位置などの詳細は本体に添付の『ハードウェアガイド』をご覧ください）。

POINT

- ▶ 本製品では、スマートカードを差し込むことによりワークステーションの電源を入れたり、スタンバイ状態からレジュームさせることができます。
ただし、ワークステーションの設定や、電源を切った状態によっては、電源が入らない場合があります。詳しくは、「注意事項」（→ P.11）をご覧ください。



（イラストはモデルや状況により異なります）

重要

- ▶ スマートカードを使用するときは、次の点に注意してください。
 - ・ 折り曲げたり、汚したり、濡らしたりしないでください。
 - ・ 磁石などの磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - ・ 電気を帯びたものを上に載せたり、近くで静電気を発生させたりしないでください。
 - ・ 高温の場所に保管しないでください。
 - ・ カードに衝撃を与えないでください。
- ▶ スマートカードをご購入の際は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

3 スマートカードによる BIOS ロックの設定

本ワークステーションでは、BIOS とスマートカードを使ったセキュリティ機能（BIOS ロック機能）をお使いになることができます。

BIOS ロック機能をお使いになるには、ワークステーション本体の BIOS 設定を変更する必要があります。次の注意を参照し、正しく設定してください。

注意

- BIOS の設定を変更する前に、スマートカードに BIOS ロック用パスワードを登録してください。
- 登録方法は、添付のアプリケーション「SMARTACCESS/BASE」内にあるオンラインマニュアルの「第 11 章 スマートカードを管理する」の「BIOS ロック用パスワードを登録する」をご覧ください。
- BIOS ロック用パスワードを登録せずに本設定を行うと、本ワークステーションが起動できなくなります。
- BIOS ロック用パスワードでお使いになれる文字は、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）のみで、大文字・小文字が区別されます。
- 半角英数字以外の文字をお使いになると、本ワークステーションが起動できなくなります。
- ユーザー用パスワード設定は、管理者用パスワード設定がされていないと行えません。
- BIOS でロックをかけるときには、1 枚のカードに 1 つのパスワードしか設定できません。
- BIOS でロックをかけるスマートカードは、利用者がオンラインマニュアルに従って作成してください。また、複数のスマートカードをお使いになる場合、管理者用スマートカードを作成してから、ユーザー用スマートカードを作成してください。
- BIOS のパスワードと BIOS ロック用パスワードとの併用はできません。BIOS の設定を変更する前に、BIOS のパスワードが設定されていない状態にしてください。

設定方法

■スマートカードの作成

添付のアプリケーション「SMARTACCESS/BASE」内にあるオンラインマニュアルを参照し、管理者用およびユーザー用スマートカードを作成します。スマートカードの作成は、管理者用を作成したあと、ユーザー用を作成してください。

重要

- ▶「SMARTACCESS/BASE」で用いられる用語、管理者用 PIN（Personal Identification Number）および利用者用 PIN は、次の BIOS ロック機能では、PUK（Personal Unblocking Key）および PIN という用語を使用します。
管理者用 PIN → PUK
利用者用 PIN → PIN
- ▶「SMARTACCESS/BASE」で管理者用 PIN および利用者用 PIN を変更する場合は、4～8 桁の半角英数字を使用してください。

■ワークステーション側の設定

お使いになるワークステーションに、スマートカードを作成したときに登録したパスワードを登録します。

- 1 本ワークステーションを再起動します。
- 2 画面下に「<F2> : BIOS Setup」と表示されたら、【F2】キーを押します。
BIOS セットアップ画面が表示されます。
- 3 「Security」→「Set Supervisor Password」（管理者用パスワード設定）の順に選択し、あらかじめスマートカードに登録した BIOS ロック用パスワードと同じパスワードを設定します。

重要

- ▶必ず、管理者用スマートカードを作成したときに設定したパスワードと同じパスワードであることを確認してください。管理者用パスワードの設定に失敗すると、本ワークステーションが起動できなくなります。
- 4 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。
本ワークステーションが再起動します。
 - 5 画面下に「<F2> : BIOS Setup」と表示されたら、【F2】キーを押します。
パスワードが要求されます。
 - 6 管理者用パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップ画面が表示されます。
 - 7 「Security」→「Set User Password」（ユーザー用パスワード設定）の順に選択し、ユーザー用スマートカードに登録された BIOS ロック用パスワードと同じパスワードを設定します。

- 8 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。
本ワークステーションが再起動します。
- 9 画面下に「<F2> : BIOS Setup」と表示されたら、【F2】キーを押します。
パスワードが要求されます。
- 10 管理者用パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップ画面が表示されます。
- 11 次の設定を変更します。
 - ・「Security」－「Smartcard PC Lock」：Enabled
利用状況に合わせて設定します。
- 12 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。
本ワークステーションが再起動します。

■パスワードの変更

重要

▶ パスワードを変更する場合、変更前に必ず「Security」－「Smartcard PC Lock」を「Disabled」に設定してください。「Disabled」に設定しないでパスワードを変更すると、本ワークステーションが起動できなくなります。ユーザー用パスワードは「Enabled」に設定したまま変更できますが、カードが破損した場合などに、使用できなくなります。
なお、パスワードの変更は、管理者用、ユーザー用とも、管理者権限でのみ行うことができます。

- 1 本ワークステーションを再起動します。
- 2 スマートカードを利用して、BIOS セットアップ画面を表示します。
- 3 次の設定を変更します。
 - ・「Security」－「Smartcard PC Lock」：Disabled
- 4 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。
本ワークステーションが再起動します。
- 5 Windowsにログオンしてから、アプリケーションで管理者用スマートカード、またはユーザー用スマートカードの BIOS ロック用パスワードを変更します。
変更方法は、添付のアプリケーション「SMARTACCESS/BASE」内にあるオンラインマニュアル（¥SCCERT¥ManBase¥index.htm）をご覧ください。
- 6 本ワークステーションを再起動します。
- 7 画面下に「<F2> : BIOS Setup」と表示されたら、【F2】キーを押します。
パスワードが要求されます。
- 8 管理者用パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップ画面が表示されます。

9 スマートカードに登録した BIOS ロック用パスワードと同じパスワードを設定します。

管理者用スマートカードを変更した場合、管理者用スマートカードに登録したパスワードと同じパスワードを、管理者用パスワードに設定します。また、ユーザー用スマートカードを変更した場合、ユーザー用スマートカードに登録したパスワードと同じパスワードを、ユーザー用パスワードに設定します。

10 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。

本ワークステーションが再起動します。

11 画面下に「<F2> : BIOS Setup」と表示されたら、【F2】キーを押します。

パスワードが要求されます。

12 管理者用パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。

BIOS セットアップ画面が表示されます。

13 次の設定を変更してください。

・「Security」－「Smartcard PC Lock」: Enabled

14 「Exit」－「Exit Saving Changes」を実行します。

本ワークステーションが再起動します。

■ BIOS のメッセージ一覧

本ワークステーションが表示するエラーメッセージについて説明します。

There is no Smartcard
Insert Smartcard

[Continue]

・スマートカードが挿入されていないときに表示されます。

Invalid PIN
You can try nn times before Smartcard locked

[Continue]

・PIN (Personal Identification Number) の入力を間違えたときに、nn に PIN を入力できる残り回数が表示されます。

Invalid PIN
You can try once times before Smartcard locked

[Continue]

・PIN を入力できる残り回数が 1 回のときに表示されます。

スマートカードリーダー／ライターをお使いになる方へ

Failed to connect with Smartcard
Try again

[Continue]

- 本製品またはスマートカードに異常があるときに表示されます。この場合、スマートカードが正常に挿入されているか、カードに損傷がないか確認してください。それでも本メッセージが表示される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

Invalid Smartcard
Insert the correct Smartcard

[Continue]

- スマートカードの規格が違うか、読み取りに必要な情報がないときに表示されます。

System Disabled

- スマートカードの規格が違うか、読み取りに必要な情報がないスマートカードを挿入し、PIN を 3 回以上入力したときに表示されます。この場合、電源ボタンを押して、本ワークステーションの電源を切ってください。

The Smartcard is locked

- スマートカードがロックされたときに表示されます。この場合、電源ボタンを押して、本ワークステーションの電源を切ってください。

The Smartcard is locked already

- スマートカードがすでにロックされているときや、読み取りに必要な情報がロックされているとき、アクセス権がないときに表示されます。この場合、電源ボタンを押して、本ワークステーションの電源を切ってください。

4 注意事項

- 本製品は、USB インターフェースを使用しております。
本製品をご使用になる場合は、BIOS セットアップで USB コントローラを使用可能にしてください（初期値は使用可能です）。
BIOS のセットアップについては、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。
- 他の製品で作成した、拡張情報の多いスマートカードの読み取りを本製品で行うと、ごくまれにスマートカードの機能が停止する場合があります。
このような場合、本ワークステーションを再起動してください。再起動後、本製品で作成したスマートカードをお使いになるか、拡張情報を減らした形式で作成し直したスマートカードをお使いください。
- Windows の終了や再起動の処理中、または省電力状態への移行中にスマートカードを抜いた場合、Windows の処理またはスマートカードのロック処理が途中で停止してしまうことがあります。Windows の各処理が終了した時点でスマートカードを抜いてください。
- 電源が切れていたりスタンバイ状態のときにスマートカードを挿入すると、ワークステーションの電源を入れたりレジュームさせたりすることができます。
ただし、次の場合はスマートカードを挿入しても電源が入りません。電源ボタンを押して電源を入れてください。
 - BIOS ロックの設定メッセージ（例：“Enter your PIN:” など）が表示されているときに電源を切った場合
- 電源投入機能では IC チップの認証は行っておりません。
Windows ログオン時より認証確認が行われます。

CELSIUS Workstation Series
スマートカードリーダー／ライタをお使いになる方へ

B6FH-8991-01 Z2-00

発行日 2006 年 1 月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。